

近年ではオフィス空間に曲線を多用したデザインが見られるようになってきましたが、まだまだ主流ではなく、多くは左ページのような直線をメインとした空間づくりとなっているのが現状です。曲線を多用したオフィス空間は氣の流れが活発になり、働く人の脳に良い影響を与えます。そして、良いデザインのオフィスで働けるということは、ストレスの軽減やモチベーションの向上を通じて、従業員の方々のメンタルヘルスを整えることも期待できます。

右ページのリフォーム案では、会議室スペースをエントランスホール側に変更し、お客様の動線を手前に持ってくることで、セキュリティ面の強化をはかっています。会議室の円卓は上下関係をなくし、フラットなコミュニケーションを促す優れたデザイン要素です。四角いテーブルに比べて圧迫感が少なく、動線をスムーズにする効果もあります。執務室内のデスクは、変化がわかりやすいように既存と同じデスク配置としていますが、動線がシンプルになった影響でスペースに余裕が生まれ、WEB ブースなどを配置できるようになりました。デスクの形状については、ブーメラン型の 120°や 135°デスクと呼ばれるタイプのものにとすると、より空間に動きが生まれ氣が活性化するので、スペースに余裕があれば採用するのが良いでしょう。

また、今回のオフィスレイアウトにはありませんが、従業員用の休憩室やリラックスルーム、瞑想室なども近年採用される企業様が増えております。より快適に勤務できる空間づくりをすることで、企業の価値を高める働きも期待できます。



Feng-Shui Gallery

special edition vol.105

『オフィスのリフォーム・レイアウト変更 vol.2』 ～曲線がもたらす室内環境の変化～



直線で構成されることの多いオフィス空間のリフォーム。
曲線を多用することで、氣の流れの良い空間に仕上げる。